



渋谷区立原宿外苑中学校

令和5年9月号（8月30日発行）

学校だより



<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/haragaij>

未来社会に向けて「社会」と「学校」をつなぐ「学び」を創造する

校長 駒崎 彰一

昨年度の学校だより 11 月号 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/67444/409907.pdf> で紹介しましたが、数年前に参加した会議での民間企業トップの学校教育に対する発言が深く心に刺さっています。『日本の学校では主要5科目が重視され、これらに秀でた記憶力の高い生徒が「エリート」となる。この「エリート」を新入社員として採用しても「即戦力」として活躍することができないのが日本の現状。日本の学校教育は、記憶力を競い合う時代遅れのクイズ番組のよう。企業で再教育をしないと「戦力」にならない……。』

「より良い学校教育を通して、より良い社会を創る」これは、学校教育を生業としている我々教員の使命です。民間企業トップの発言から「社会」と「学び」をいかにつないでいくのか……ということをこれまで以上に強く意識して教育活動を展開するようになりました。コロナ禍により「社会」との分断があった 2 年間を経て、昨年度より「学び」と「社会」をつなぐ教育活動を積極的に展開しています。 昨年度取組まとめ:<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/78231/484227.pdf>

「学び」と「社会」を効果的につなぐためには、「未来社会」についてのイメージを皆で共有する必要があります。「Society 5.0」日本の科学技術政策の中で生み出された考え方です。我が国、そして世界が目指すべき未来社会像として、世界中に広まりつつあるコンセプトとなっています。政府だけではなく産業界や教育界も一緒になって取組を進めていく必要があると捉えています。

こうした中で「経団連（一般社団法人日本経済団体連合会：KEIDANREN “Japan Business Federation”）」が「未来社会協創会議」を立ち上げて Society 5.0 実現に向けた諸課題を包括的に議論し、世界に打ち出すコンセプトを深化させるとともに、実現に向けたアクションプランを整理し、提言「Society 5.0 ーともに創造する未来ー」としてまとめています。そして、「Society 5.0」により実現する未来社会を描いた動画「20XX in Society 5.0～デジタルで創る、私たちの未来～」にまとめています。この動画を視聴すると「未来社会」についてのイメージを膨らませ、新鮮な知的刺激を受けることができると思います。

経団連サイト:<https://www.keidanren.or.jp/announce/2020/0326c.html?v=p>
動画-URL :<https://www.youtube.com/watch?v=xQnnAih8KIo>

「学び」と「社会」をつなぐ教育を探究する中で、ノーベル経済学賞を受賞したコロンビア大学のスティグリッツ教授 (Joseph Stiglitz) とグリーンウォルド教授 (Bruce Greenwald) の共著である『CREATING A LEARNING SOCIETY (学習社会を構築する)』、日本語版『スティグリッツのラーニング・ソサイエティ 生産性を上昇させる社会』(岩本千晴訳、東洋経済新報社) という書籍に出会いました。まさに「学び」によって経済が発展する仕組みを解説するといった興味深い内容です。変化する経済の動きの中で生産性を向上するためには、「競争」ではなく「学び」が不可欠だということを様々な視点から解説しています。そして「学び方を学ぶ」ことが何よりも大切であり、「学

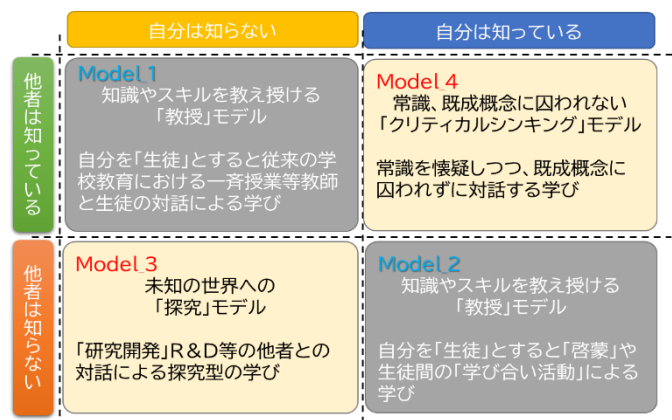
び」による進化(イノベーション)の速度が重要な要因であるとしています。やはり「社会」特に経済を動かすには「学び」がキーワードになることを確信しました。

この書籍を東京工業大学 矢野 真和 名誉教授が「考え方を变える」という視点からわかりやすく解説しています。『「学び方を学ぶ」ことが重要だとスティグリッツ教授が指摘しているが、「学び」の概念を整理するには説明しにくい、スティグリッツ教授はこの書籍の中で「考え方を变える」必要性も語っている。こちらの方が「学び」を考えるということを理解するのに役立つ』として、「考え方を变える方策として、「4つの対話型学習モデル」を解説しています。

「学び」とは「考え方を变えること」と定義し、「考え方」は、「知識の集合体」として構成されていると捉え、「考え方」を变えるには「自己と他者との対話」が不可欠であるとして、「考え方」を变えるための対話による「学び」のモデルを以下の図(矢野名誉教授による解説を基に義務教育用に改変しています。)ように想定しています。

これまでの日本の学校での「学び」といえば、考え方を教える者(先生)とその考え方を身に付ける者(生徒)との対話(Model_1)が中心となっていました。

また、最近では「学び合い」や「教え合い」という視点から多様な対話(Model_2)が広がってきています。



これからの未来社会は、自己も他者も「知らない」状況で、対話しながら「考え方を变えなければならぬ」場面が数多く生じるといわれていることから、知らないもの同士が対話しながら、変えなければならぬ問題を発見し、解決する(考え方を变える)学び(Model_3)が必要になると言われています。

そして、もう1つ大事な対話が自己と他者が共に「知っている」にも関わらず、対話をしているうちに「考え方が変わる」場合。両者が知っていれば「常識」の範疇のものを「常識」を懐疑しつつ、既成の概念に囚われずに対話していくことで新しい考え方に到達する方法となる対話(Model_4)。いわゆる「クリティカルシンキング」モデルです。「常識を疑うことのない研究は存在しない。」知らないもの同士が対話しつつ「考え方を变える」ためには、お互いが「知っている」と思っている考え方(常識)を疑ってみるのが良いというものです。

Model_3とModel_4のような、2つの対話は、知らなかった「考え方」をインプット(吸収)するだけではなく、お互いが「考え方」をアウトプット(発信)しなければ成り立たない「アウトプット型の学び」になります。

このように、これからの未来社会では Communication や Collaboration といった、他者とともに主体的に対話して課題解決に取り組むことが求められます。

学校での「学び」も、単に知識を得る(吸収する)だけではなく、他者とともに対話し、議論し、試行錯誤することで学びを深め、「考え方を变え」ながら、これからの未来社会をたくましく生き抜くスキルを得て(蓄えて)行ってほしいと思います。

原宿表参道元氣祭「スーパーよさこい2023」

「地域の祭り」原宿表参道榊会主催の元氣祭「スーパーよさこい2023」がコロナ前の規模での全面実施。8月26日(土)・27日(日)に開催されました。「原宿よさこい連」とのコラボレーションにより、1日目は、3年生と2年生で参加。2日目は、1年生を含む有志生徒と保護者、卒業生、地域関係者にて参加しました。



原宿表参道元氣祭
スーパーよさこい2023



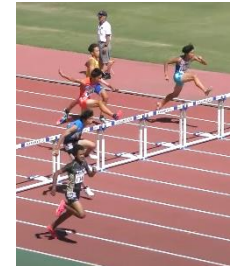
表彰

今野 里沙子 第63回全国中学校水泳競技大会 競泳競技 (香川県高松市)
女子 800m 自由形 第4位

写真: 女子 800m自由形決勝のスタート(第6水路)

キング レイ 第51回関東中学校陸上競技大会 (茨城県水戸市)
中学共通 男子 四種競技 第4位

写真: 共通男子四種競技 100mH(一番手前)



吹奏楽部

第63回東京都中学校吹奏楽コンクール 金賞

バスケットボール部(女子)

第62回東京都中学校総合体育大会バスケットボール大会 出場

(第76回東京都中学校バスケットボール選手権大会)

ソフトテニス部(女子)

第62回東京都中学校総合体育大会ソフトテニス大会 出場

(第73回東京都中学校ソフトテニス選手権大会)

	日	月	火	水	木	金	土
今月の 予定						1	2
						避難訓練	土曜授業 新入生 学校説明会
	3	4	5	6	7	8	9
		TLD		前期期末(始)		前期期末(終)	
	10	11	12	13	14	15	16
		教育実習(始) 専門委員会		職員会議・研修会		生徒会役員選挙	
	17	18	19	20	21	22	23
		敬老の日	認知症サポ- ト(1)			区陸練習(始)	秋分の日
	24	25	26	27	28	29	30
	生徒朝礼			区陸練習(終) 水泳指導(終)	陸上競技大会 教育実習(終)		

	日	月	火	水	木	金	土
来月の 予定	1	2	3	4	5	6	7
	都民の日			前期終業式	秋季休業日 (始)		秋季休業日 (終)
	8	9	10	11	12	13	14
		スポーツの日	後期始業式	渋中研指導案 検討会 TLD	安全指導 なみき祭練習 (始)		
	15	16	17	18	19	20	21
		専門委員会	避難訓練	職員会議・研 修会		なみき祭準備 なみき祭練習 (終)	なみき祭 (舞台)
	22	23	24	25	26	27	28
		なみき祭代休		中央委員会		進路相談 (始)	
	29	30	31				
	生徒朝礼						